



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月7日

上場会社名 ダイキョーニシカワ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4246 URL <http://www.daikyonishikawa.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内田 成明
 問合せ先責任者(役職名) 取締役専務執行役員 経営本部長(氏名) 錦村 元治 (TEL) 082-885-9979
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月8日 配当支払開始予定日 平成29年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	81,367	9.3	8,408	13.3	8,893	28.1	6,083	20.7
29年3月期第2四半期	74,474	△5.6	7,422	△11.0	6,943	△14.8	5,039	△11.9

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 7,958百万円(170.8%) 29年3月期第2四半期 2,939百万円(△42.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	85.87	85.85
29年3月期第2四半期	68.19	68.19

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	125,522	63,528	49.1
29年3月期	120,409	56,530	45.7

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 61,676百万円 29年3月期 55,085百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	12.00	—	16.00	28.00
30年3月期	—	16.00			
30年3月期(予想)			—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	167,000	7.3	16,700	16.2	17,300	24.8	11,800	16.9	166.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成30年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成29年8月10日に公表した予想から修正しております。詳細は、本日(平成29年11月7日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期2Q	73,896,400株	29年3月期	73,896,400株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	3,048,638株	29年3月期	3,050,421株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期2Q	70,847,155株	29年3月期2Q	73,895,935株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日～平成29年9月30日）の自動車業界を取り巻く事業環境は、国内自動車メーカー各社ともグローバルでの生産台数は概ね前年を上回る推移となっております。

このような環境の中で、当社の取り組みとしまして、2018年度を計画最終年度とする中期経営計画に掲げる経営指標達成に向け、より具体的な目標達成に向けた取り組みを推進しております。

当第2四半期連結累計期間の連結業績は、主要販売先への売上増等により、売上高は前年同期と比べ6,892百万円（9.3%）増加の81,367百万円となりました。

営業利益は、次世代車種開発に伴う研究開発費の増加等はありませんでしたが、増収効果やコスト低減活動等により、前年同期と比べ986百万円（13.3%）増加の8,408百万円となりました。経常利益は、前年同期と比べ1,950百万円（28.1%）増加の8,893百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期と比べ1,044百万円（20.7%）増加の6,083百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（日本）

主要販売先への売上増等により、売上高は前年同期と比べ5,149百万円（8.6%）増加の64,905百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、次世代車種開発に伴う研究開発費の増加等はありませんでしたが、増収効果やコスト低減活動等により、前年同期と比べ368百万円（6.0%）増加の6,508百万円となりました。

（中国・韓国）

中国子会社における主要販売先への売上増等により、売上高は前年同期と比べ1,561百万円（43.5%）増加の5,154百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、新製品の量産にかかる費用の増加等はありませんでしたが、増収効果等により、前年同期と比べ220百万円（101.5%）増加の437百万円となりました。

（アセアン）

主要販売先への売上は前年同期並みでしたが、円安による邦貨換算の影響等により、売上高は前年同期と比べ133百万円（2.7%）増加の5,017百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、コスト低減活動等により、前年同期と比べ105百万円（18.7%）増加の668百万円となりました。

（中米・北米）

メキシコ子会社における主要販売先への売上増や、円安による邦貨換算の影響等により、売上高は前年同期と比べ1,307百万円（15.9%）増加の9,536百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、増収効果やコスト低減活動、為替変動の影響等により、前年同期と比べ564百万円（99.1%）増加の1,133百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(連結財政状態)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ5,113百万円(4.2%)増加し、125,522百万円となりました。主な要因は、現金及び預金並びに有形固定資産の増加によるものであります。

負債は、前期末に比べ1,885百万円(3.0%)減少し61,993百万円となりました。主な要因は、未払法人税等が増加した一方で、長期借入金及びリース債務並びに賞与引当金の減少があったことによるものであります。

純資産は、前期末に比べ6,998百万円(12.4%)増加し63,528百万円となりました。主な要因は、利益剰余金及び為替換算調整勘定の増加によるものであります。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前期末と比較して2,601百万円(7.7%)増加し、36,266百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは11,591百万円の収入(前年同期は6,873百万円の収入)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益8,855百万円の計上、減価償却費4,422百万円の計上による資金増加があった一方で、法人税等の支払額1,121百万円による資金減少があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、5,234百万円の支出(前年同期は5,217百万円の支出)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出4,858百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、3,715百万円の支出(前年同期は4,658百万円の支出)となりました。主な要因は、セール・アンド・リースバックによる収入1,072百万円があった一方で、リース債務の返済による支出2,224百万円及び長期借入金の返済による支出1,552百万円があったことによるものです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,777	37,666
受取手形及び売掛金	27,516	25,462
電子記録債権	3,751	3,444
商品及び製品	1,346	1,120
仕掛品	663	673
原材料及び貯蔵品	2,967	3,303
繰延税金資産	1,282	1,293
未収入金	261	317
その他	916	758
貸倒引当金	△458	△5
流動資産合計	73,023	74,035
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,730	10,378
機械装置及び運搬具（純額）	11,529	12,112
工具、器具及び備品（純額）	2,349	2,269
土地	11,021	12,724
リース資産（純額）	6,573	5,636
建設仮勘定	1,777	3,965
有形固定資産合計	42,981	47,087
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	1,842	1,910
長期貸付金	483	587
繰延税金資産	949	748
その他	588	627
貸倒引当金	△494	△594
投資その他の資産合計	3,369	3,279
固定資産合計	47,385	51,487
資産合計	120,409	125,522

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,683	29,912
短期借入金	3,930	3,778
1年内返済予定の長期借入金	3,029	2,779
リース債務	3,908	3,216
未払金	4,208	5,129
未払費用	550	495
未払法人税等	1,073	2,438
賞与引当金	2,073	1,450
製品保証引当金	808	893
設備関係支払手形	449	830
その他	1,550	1,121
流動負債合計	52,266	52,047
固定負債		
長期借入金	4,943	3,506
リース債務	2,887	2,461
退職給付に係る負債	3,283	3,081
役員退職慰労引当金	8	9
資産除去債務	184	186
その他	304	699
固定負債合計	11,612	9,946
負債合計	63,879	61,993
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,426	5,426
資本剰余金	10,836	10,835
利益剰余金	42,230	47,181
自己株式	△4,426	△4,423
株主資本合計	54,067	59,020
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	336	397
為替換算調整勘定	725	2,275
退職給付に係る調整累計額	△43	△17
その他の包括利益累計額合計	1,017	2,655
新株予約権	16	25
非支配株主持分	1,428	1,827
純資産合計	56,530	63,528
負債純資産合計	120,409	125,522

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	74,474	81,367
売上原価	63,337	68,925
売上総利益	11,137	12,441
販売費及び一般管理費	3,715	4,033
営業利益	7,422	8,408
営業外収益		
受取利息	46	54
受取配当金	11	15
持分法による投資利益	—	96
為替差益	—	33
補助金収入	49	16
貸倒引当金戻入額	17	348
その他	67	138
営業外収益合計	191	704
営業外費用		
支払利息	189	161
持分法による投資損失	73	—
為替差損	384	—
その他	23	57
営業外費用合計	670	219
経常利益	6,943	8,893
特別利益		
固定資産売却益	2	11
特別利益合計	2	11
特別損失		
固定資産除売却損	27	49
特別損失合計	27	49
税金等調整前四半期純利益	6,918	8,855
法人税等	1,926	2,510
四半期純利益	4,991	6,344
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△47	260
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,039	6,083

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	4,991	6,344
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△105	61
為替換算調整勘定	△1,984	1,507
退職給付に係る調整額	51	25
持分法適用会社に対する持分相当額	△14	20
その他の包括利益合計	△2,052	1,614
四半期包括利益	2,939	7,958
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,134	7,721
非支配株主に係る四半期包括利益	△195	236

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,918	8,855
減価償却費	4,423	4,422
のれん償却額	29	—
株式報酬費用	5	11
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△18	△353
賞与引当金の増減額(△は減少)	△217	△621
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△487	84
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△146	△202
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△159	0
受取利息及び受取配当金	△57	△69
支払利息	189	161
持分法による投資損益(△は益)	73	△96
固定資産除売却損益(△は益)	25	38
売上債権の増減額(△は増加)	△316	2,297
たな卸資産の増減額(△は増加)	△53	△138
仕入債務の増減額(△は減少)	△902	△760
その他	93	△868
小計	9,397	12,760
利息及び配当金の受取額	123	113
利息の支払額	△189	△159
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△2,458	△1,121
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,873	11,591
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△333	△278
有形固定資産の取得による支出	△4,801	△4,858
有形固定資産の売却による収入	18	23
無形固定資産の取得による支出	△74	△116
その他	△27	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,217	△5,234
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	10	△42
長期借入金の返済による支出	△1,669	△1,552
社債の償還による支出	△1,000	—
セール・アンド・リースバックによる収入	1,588	1,072
リース債務の返済による支出	△2,287	△2,224
自己株式の取得による支出	—	△0
自己株式の売却による収入	—	0
配当金の支払額	△1,401	△1,131
非支配株主からの払込みによる収入	101	162
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,658	△3,715
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,129	△39
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,132	2,601
現金及び現金同等物の期首残高	37,174	33,664
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,041	36,266

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	中国・韓国	アセアン	中米・北米	
売上高					
外部顧客への売上高	58,248	3,131	4,875	8,219	74,474
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,507	461	8	9	1,986
計	59,755	3,593	4,883	8,229	76,461
セグメント利益	6,140	217	562	569	7,489

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	7,489
セグメント間取引消去	△67
四半期連結損益計算書の営業利益	7,422

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	中国・韓国	アセアン	中米・北米	
売上高					
外部顧客への売上高	63,788	3,032	5,013	9,533	81,367
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,116	2,122	3	2	3,245
計	64,905	5,154	5,017	9,536	84,613
セグメント利益	6,508	437	668	1,133	8,748

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,748
セグメント間取引消去	△339
四半期連結損益計算書の営業利益	8,408